

いのちの言の葉 2016

富山県教育委員会 平成28年度いのちの教育総合支援事業

いのちの先生「助産師」①

大切ないのち（学級活動）
朝日町立さみさと小学校
平成28年11月8日実施

【授業の概要】

- ① 赤ちゃんの誕生
- ② 家族の思いとのつながり
- ③ 成長に携わった人々への感謝の気持ち
- ④ 親子とのふれあい

黒部市立たかせ小 7/1、黒部市立荻生小 7/4
黒部市立村椿小 7/7、黒部市立宇奈月小 7/15
黒部市立若栗小 10/2、入善町立ひばり野小 10/31
黒部市立桜井小 11/1、黒部市立石田小 11/2
滑川市立寺家小 11/12、黒部市立宇奈月小 11/30
朝日町立あさひ野小 12/2、入善町立桃李小 2/2
においていのちの授業が行われています。



児童から保護者へ

お母さん、私を産んでくれたときは、自分の体のことを心配すればいいのに、私が無事に産まれてくることを心配してくれてありがとう。お母さんには、「ありがとう」の言葉しかありません。お母さんががんばってくれた分、これからの将来、精一杯がんばりたいと思います。そして、たくさんの人たちに感謝していきたく思います。長生きしてね。

保護者から児童へ

出産予定の3日前、高熱と咳で緊急入院しました。咳をするたびに「赤ちゃんごめんね。神様どうか赤ちゃんを守ってください」と祈りました。自分はどんなひどい思いをしてもいいから、赤ちゃんに無事に生まれてきてほしかったのです。お父さんやおじいちゃん、おばあちゃんたち、みんなうれしくてだっこしていました。たくさんの人たちに守られていることにいつも感謝して幸せになってね。

児童から保護者へ

お母さん、仕事や家事をがんばってくれてありがとう。元気よく育ててくれたのもお母さんのおかげだと思っています。いつも感謝しています。ちゃんとお手伝いをするようにがんばります。妊娠、出産、育児など、分からないことがいっぱいだったと思うけれど、がんばってくれてありがとう。まだまだ頼ることがいっぱいあると思いますが、これからもよろしく願いします。

保護者から児童へ

長女だったので、妊娠、出産、育児、すべてが初めてで分からないことばかりでした。お父さんやおじいちゃん、おばあちゃんに助けてもらってがんばることができました。本当に月日の経つのは早いですね。赤ちゃんをだっこできたときは、陣痛の痛みなんて忘れ、かわいくて感動しました。これからも、元気よく健康で育ってくれることが家族全員の願いです。